

日本海沿岸東北自動車道の工事現場で  
2,500年前の「埋もれ木」が出土  
～3月19日（木）専門家による現地説明会開催～

国土交通省が平成27年度供用を目指し、工事を進めている日本海沿岸東北自動車道の工事現場から、約20本の「埋もれ木」が出土しました。  
専門家の調査により約2,500年前の鳥海山の山体崩壊による岩なだれによって地中に埋もれた木であることが判明、長大のものは直径1.4m、樹高10m（ケヤキ）あります。  
については、専門家による地元郷土史研究会会員向けの現地説明会を開催しますのでお知らせ致します。

- 「埋もれ木」説明会日時  
：平成27年3月19日（木） 午後1：00～
- 場 所：にかほ市象潟 日本海沿岸東北自動車道工事現場 ※別添位置図参照
- 現地説明会講師：秋田県立大学 木材高度加工研究所 栗本 康司 教授

発表記者会：秋田県政記者会

問い合わせ先

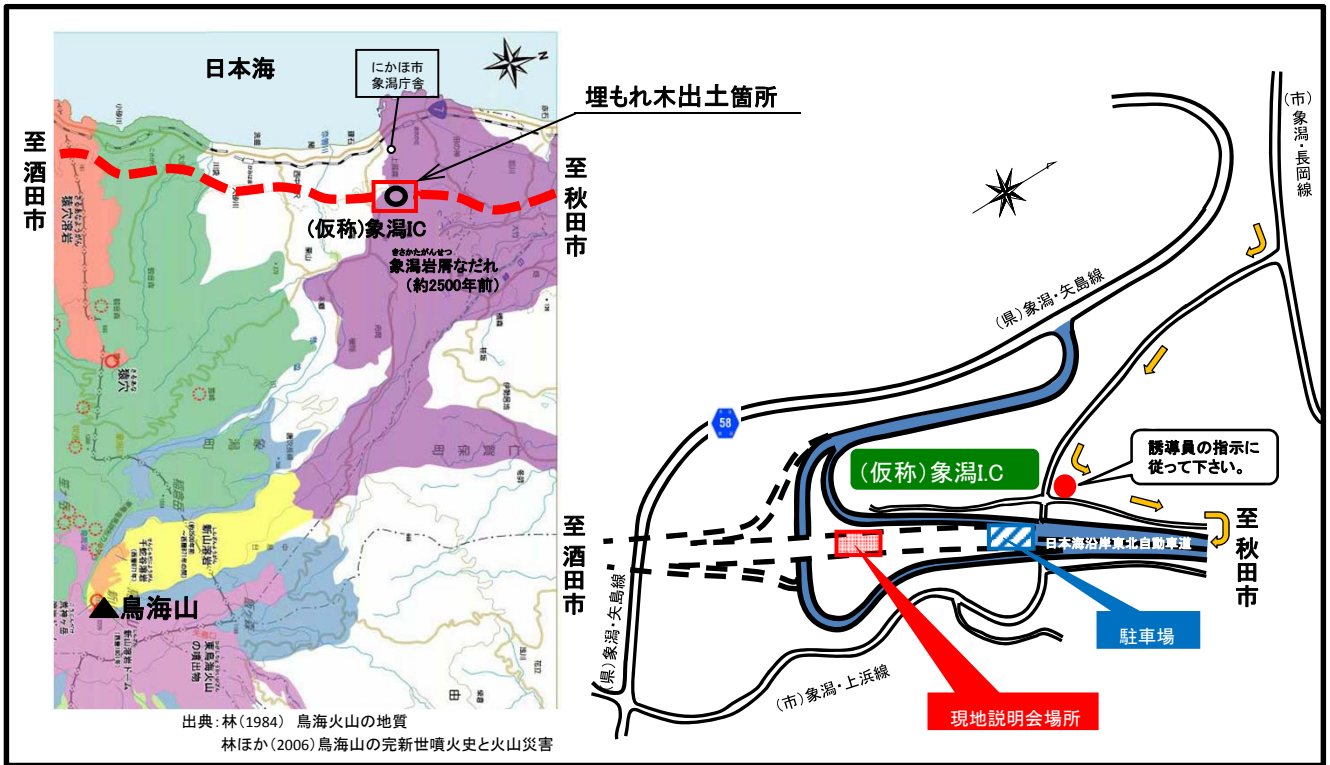
【埋もれ木に関する問合せ先】

にかほ市 文化財保護課長 齊藤 一樹 電話 0184-43-7510

【象潟仁賀保道路事業に関する問合せ先】

国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所  
副所長（道路担当） 佐野 智樹（内線205） 電話 018-823-4167（代表）

# 位置図



▲専門家による埋もれ木の確認

今回確認された「埋もれ木」は、鳥海山の噴火の歴史やにかほ市の地質を語る貴重な資料となり、今後の郷土研究やにかほ市の歴史の学習にも活用できることから、「国土交通省」から「にかほ市」へ提供されるものです。



▲突き刺さった形の出土状況